OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	メタフュシカ　第28号　編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	メタフュシカ. 1997, 28
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66604
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

『メタフュシカ』第二十八号（通算）をお届けいたします。本誌は、従来本講座より刊行されていた『カルテシアーナ』および『カンティアーナ』の二誌を受け継ぎ、哲学哲学史研究室と倫理学研究室の統合研究誌として生まれ変わって第二号目にあたります。前号に引き続き本号も本講座教官および新進気鋭の若手研究者の論文に加えて、海外の著名な研究者の方々からの御寄稿をいただきインターナショナルなハイレヴェルの研究誌となったことに編集委員一同喜んでいますとともに、御寄稿いただいた方々に心から御礼申し上げたいと思います。

巻頭のニューヨーク州立大学（バッファロー校）教授曺街京先生の御論文は、先生が平成九年二月二十二日に本学文学部において講演された原稿を、お忙しいところを御無理を願って論文にしていただいたものです。曺先生の日本人以上の堪能な日本語を駆使する変わらぬ卓抜な語学力に感銘を覚えますとともに、西洋哲学のみならず日本の歴史的思想状況に対する深い造詣に対し心からの敬意の念を禁じえません。また先生に御寄稿いただくにあたっては、追手門学院大学教授志水紀代子先生、同教授山本博史先生および本学部里見軍之教授、さらに本学部生西田理恵子さんにさまざまな面でお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げたいと思います。

またアウクスブルク大学教授アルノー・バルッツィ先生の御論文は、同じく本学部で平成九年四月二十六日に御講演いただいたもので、翻訳原稿の掲載を快諾してくださったバルッツィ先生に心より御礼申し上げたいと思います。また翻訳担当の本学大学院生の阪本恭子さん、ありがとうございました。バルッツィ先生はすでに数度訪日しておられ、また邦訳書も通じて日本でも著名な方ですが、このたび本学にお招きでき、先生のエネルギッシュな御講演とディスカッションに接することができたのは、大変貴重な経験でした。本論文掲載によってその一端でもお伝えできればと思います。

本誌は、今後とも哲学、倫理学の日本における第一線の研究成果の発表の場でありたいと願っています。その意味でも読者諸氏のさまざまな御意見、御批判をお寄せいただければ幸いです。

彙報

本講座哲学哲学史研究室の米虫正巳助手が平成九年四月より関西学院大学文学部助手に転出されました。氏のますますの御活躍を祈念いたします。またその後任として同年同月、吉永和加助手が着任しました。

また、本学大学院出身の東海大学助教授望月太郎氏が、本年度本学文学博士の学位を取得されました。題目は、『「思う我」から「働く我」へ――近代フランス哲学における二元論の展開と自我論の変貌――』です。

最後になりましたが、本誌刊行に関わる面倒な事務を手伝ってくださった哲学系資料室の駒山智子さんに御礼申し上げたいと思います。（溝口記）

『メタフュシカ』第二八号編集委員
溝口宏平（文学部教授）
中岡成文（文学部教授）
入江幸男（文学部助教授）
編集補佐
吉永和加（文学部助手）

メタフュシカ　第二八号

平成九年一二月二〇日　印刷
平成九年一二月二五日　発行　非売品

編集兼発行者　大阪大学文学部哲学講座
〒五六〇―八五三二　豊中市待兼山町一―五
印刷所　株式会社　天理時報社
〒六三二―〇〇八三　天理市稲葉町八〇番地